

芝生用殺菌剤

農林水産省登録
第21960号



バナーマックス®

液剤

®はシンジェンタ社の登録商標です。

しつこい炭疽病に優れた効果!!

「スツ」と吸収されるマックス製剤!!



バナーマックス®
液剤

syngenta®



芝生用殺菌剤

バナーマックス®

プロピコナゾール液剤

液剤

- 農林水産省登録：第21960号
- 有効成分：プロピコナゾール …………… 14.3%
- 包装：500mL×10本
- 有効年限：4年
- 毒物および劇物取締法：非該当
- 危険物：第4類第3石油類
- 作用機構分類番号(RAC番号)：殺菌剤分類 **3**

特長

- ◎近年増加傾向のダラスポットと炭疽病に高い効果を示します。
- ◎ヘリテージと組み合わせることで幅広い病害をカバーします。
- ◎非常に粒子の細かいマックス製剤のため、すばやく植物内に吸収され、降雨や散水の影響を受けにくく、安定した効果が期待できます。
- ◎使用しやすい液剤タイプです。

適用病害の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロピコナゾールを含む農薬の総使用回数	
日本芝	カーブラリア葉枯病 さび病	400倍	発病初期	6回以内	1㎡当たり 100mL散布	6回以内	
		200倍			1㎡当たり 50mL散布		
西洋芝 (ベントグラス)	カーブラリア葉枯病 ヘルミントスポリウム葉枯病	1000倍～ 2000倍			1㎡当たり 500mL散布		
		1000倍～ 1500倍					
	炭疽病	1000倍～ 2000倍			1㎡当たり 100mL散布		
		400倍			1㎡当たり 50mL散布		
	紅色雪腐病	1500倍			根雪前		1㎡当たり 500mL散布
		1000倍～ 2000倍			発病初期		1㎡当たり 100mL散布
ダラスポット病	400倍	1㎡当たり 50mL散布					
	200倍	1㎡当たり 50mL散布					

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液は調製した日に使いきってください。
- 夏期高温時の連続散布では、ベントグラスの葉色がやや濃くなることがあるので注意してください。
- 本剤の連続使用により薬剤耐性菌が出現するおそれがあるので、連用をさけ作用性の異なる薬剤と組み合わせることで輪番で使用してください。
- 本剤の散布液を調製した容器ならびに散布器具は使用後十分に水で洗浄してください。
また、洗浄した廃液ならびにやむを得ず使い残した散布液は、河川などに影響がないように適切に処理してください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
眼に入った場合には直ちに水洗い、眼科医の手当を受けてください。
 - 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼をしてください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ※水産動植物に関する注意事項：この登録に係る使用方法では該当がありません。
 ※危険物第4類第3石油類に属するので火気には十分注意してください。
 ※貯蔵上の注意事項：火気や直射日光を避け、食品と区別して、低温で子供の手のとどかない場所に密栓して保管してください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。

販売
シンジェンタ ジャパン株式会社
 ローン アンド ガーデン事業本部

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階
 TEL.03-6221-3802 FAX.03-6221-3899
<http://www.syngenta.co.jp/golf>

取扱い